

予算編成で町独自にどのような工夫をしたか

町長…町独自で人口減・高齢者対策は難しい



遠藤 宏司 議員



完成した統合中。次は小学校統合だね

町長 地方交付税は5.4%、臨時交付金は34%増で計上しましたが、公債比率や財政指標に表れているように、財政逼迫の状況は変わりない。国の新規の取り組みに合わせ制度の新設をし、更に県の基金を活用します。町が単独で人口減少や高齢化対策の施策を行うのは、難しい現状にあり、創意工夫を進めていきます。



小学校も望ましい教育環境を

安心の町・少子化・高齢化対策の具現化は 地方交付税が増額となつていますが、町長が掲げる安全・安心・豊かさが実感できる町にするため予算でどう具現化したのか。少子化や高齢化による人口減少の中、人口減少をくい止め、町民生活を向上させるため、予算編成にあたり町独自にどのような工夫をしたのか。

地区ごとの年間行事や事業・学区民運動会は地域を活性化し、更には町そのものの活力の源です。伝統的なものは長く残すべきです。しかし、少子化や高齢化による急激な人口減少で、継続が不可能な状況です。人口減少をくい止められる政治、行政に頼らない限り、学校統廃合は避けられませぬ。33年度に1校というのは激動する時代に沿う教育行政なのか。複式学級にならない学校は残しつつも、複式学級解消は日々の緊急な教育行政の課題では。

町長 学区民運動会は6校で実施しています。学校施設を活用しないと3校で5億円以上の起債償還になります。教育委員会が町長と議会が判断しやすいよう3校の計画資料を策定してもらったものです。



除雪ボランティア「スノーバスターズ」による除雪作業

車を運転できない住民の交通をどのように確保していくのか。町長 昨年9月わが町はついに高齢化率30.02%に達し憂慮すべき状況にある。かつて民間バス路線廃止に伴い補完する観点から町内業者に委託し乗り合いジャンボタクシーを運行した。しかし、利用者の激減により、受託を解約された経緯がある。現在高齢者タクシー制度に切りかえたところだ。

町長 高齢化が急速化する中において除排雪問題はますます恒久的な課題である。現在町社会福祉協議会のなかに「ボランティアコーディネーター」として1名嘱託職員を配置し活動の指導と推進に努めている。

主に一人暮らし高齢者を対象に玄関口等の除排雪支援活動を展開してきた。心より感謝しています。除雪ボランティア「スノーバスターズ」の会員について町社会福祉協議会と連携しながら募集拡大に努め、恒久的組織については今後の検討課題としたい。



改善の余地はないが、高齢者タクシー制度

町長 高齢者除雪費助成金として1回1万円を年2回支給しており、この冬は現在62件の申請がある。心身の安定と経済的負担の軽減がはかられていると理解し、今後も継続していく。



小玉 勇 議員

高齢者、身体的弱者をどのように守るか

町長…高齢者を守る施策の推進は喫緊の課題と認識している

町長 高齢化が急速化する中において除排雪問題はますます恒久的な課題である。現在町社会福祉協議会のなかに「ボランティアコーディネーター」として1名嘱託職員を配置し活動の指導と推進に努めている。

町長 高齢者除雪費助成金として1回1万円を年2回支給しており、この冬は現在62件の申請がある。心身の安定と経済的負担の軽減がはかられていると理解し、今後も継続していく。